|  |
| --- |
| **千葉大学サイクリング部****現状の問題点とその改善策について（仮）** |
|  |
|  |
|  |
| **2013.4,21** |

|  |
| --- |
|  |

　部員が100名を超え、巨大サークルになりつつあるチャリ部。その中で、チャリ部が持つ雰囲気や、行事、仕事にも少しずつ変化が現れてきている。これまでの決め事、伝統、暗黙の了解として現在に引き継がれているものも多いが、一方で、サークルの巨大化という中でその決め事を新たにしていかなければならない時期であるとも言える。

更に、最近工具や鍵などの紛失も目立つようになってきた。こうしたモラル的事項に対しても、部員の認識を改めていきたいところである。サークルを作り上げているのは50年という伝統を作ってくださったOBの先輩方や、現在その運営を任されている部長・副部長といった役職の人たちだけではない。現在の部員が形作っているものなのだから、その伝統を背負うものとして、また、一大学生として、しっかりとしたサークル運営を行っていくことが望ましいと考えられる。

　こうしたことを考え、今回はサークル内で問題視されている点、不透明になっている部分を明らかにすることに重点を置き、その改善策を挙げてみた。その内容については以下の通りである。

■検討会議

■金銭関係

部費関連

　①現状とその改善策について

　②盗難補償について

各行事費関連

　①使い道

　②各担当の参加費免除と担当飲みについて

■旧部・部室に関して

　①旧部

　②部室

　③工具棚

**■検討会議**

目的：部会前などに行う、部の問題、改善点、承認などを行う場として活用。

理由：

①現在、各企画は主に部会で告知し、承認を得るスタンスをとっている。しかし、部会は議論の場ではなく、部員一人一人が責任を持ち、新たな活動への一票を投じているは言い難い状況である。検討会議の場を持つことで、新たな活動を進めたい人は、他者の意見を聞く機会を得ることができる。議論の場を持つことで、多視点から案の改善を指摘することが可能となる。また、「議論→検討・案の練り直し→完成型を部会で承認」というスタンスをとることにより、その後の活動をスムーズに行うこともできる。

②個人としての様々な能力、企画力に富んだ人材が増えている。新たな企画をどんどんやろうという姿勢は歓迎したい。しかし、新たな企画の中には、部費を使うものも多々存在し、その都度部費を使い続けるということは不可能である。そのため、部費を使うのにも優先順位が存在する。現状の問題点を改善するために部費を使うのが何よりも優先されなければならない。検討会議にかけることにより、企画の保留や、問題点の改善に力を入れることができる。

内容：

・各係、各課、その他企画などで部費をおろしたいときの討論、承認の場

（現状の問題点として：工具棚、ダート課、部旗、デザインプロジェクトなど）

工具棚：最後の項目を参照。

ダート課：ダート課人口の増加により、部でのブロックタイヤ、プロテクターの購入を検討したい。更に、MTBの貸出回数も増えてきたが、時折貸出チャリの破損もみられる。その場合の保証金支給または、ダート課用MTBの購入も検討したい。

部旗：チャリ部創設50周年ということもあり、部旗を新潮したい。その際にかかる費用、デザインの検討および、各活動で使用すると考えたときの使用方法などについての検討

・チャリ部の各活動、行動に関して問題点、改善点を示したいときの討論としての場

（現状の問題として：旧部、部室をチャリ置き場にする　＊旧部、部室関連の項目を参照）

・その他チャリ部に関わる議論、討論持ち込み歓迎

とにかく、チャリ部のいろいろを少し真面目に、かつ良くなるように意見を持ち込み、みんなで練っていきましょうという場です。自分の意見を述べること、プレゼンをすることは、部のためだけでなく、自分の力にもなると思います。

■金銭関係（部費、各行事費など）

**部費関連**

現状：

・部費の残額、使い道が不透明である。（収支報告の機会の少なさ。）

・部費から出せるもの、出せないものの線引きが曖昧である。

改善策：

・収支報告を逐一アップ（ML共有、部PCなど）

・お金のかかる企画に関しては会計、部員の承認を得ること（＊検討会議の項目を参照）

部費から出すもの

＊前提として、優先順位を設ける。活動している課、部員への補助金を優先。その他娯楽、プラスアルファの活動については、現状特に問題がなく、検討会議などでよく練ったもの、部員全員の承認をきちんとした形で得られるような活動、物に限定することとする。

・消耗品（部室での使用品、メンテ用品など）

・キャンプ備品の購入

ガス缶：合宿・ラン中に足りなくなり買い足す場合は買い、会計に報告。ただし部として常用しているものを買うこと。

バーナー：ラン・合宿中に購入する場合であっても、今後の活動で部として使っていけるものを購入すること。キャンプ備品への相談が望ましい。やむを得ず安価のものを買う場合などに関しては自己負担とし、そのバーナーは個人の所有物となる。

テント：ラン・合宿中に購入する場合であっても、今後の活動として使えるもの、できればそのテントの代用となるものを購入する。ただしキャンプ備品に相談すること。やむを得ず安価のものを購入する場合は自己負担とし、そのテントは個人の所有物となる。

・ラン中の盗難補償

検討議題：ラン・合宿中の自転車の盗難補償をするか否か

しない場合：盗難があった際にかかる全ての金銭は自己負担。

する場合：前提は、自転車を団体でかため、鍵をかけておくこと。

盗難されてからの行動から、見つからなかった場合の自転車購入までにかかるすべての金銭を部費で負担する。

＊議論点：全額負担か、部分負担か。

適応範囲：チャリ部の活動であること

（公式行事、個人企画、学年企画など。必ずしもMLでの告知がいるわけではない）

＊議論点：「チャリ部の活動」の線引き。（一人プレ、部で行われるのみなど）

**各行事費関連**

各ランで徴収がある場合のみ、次月部会での決算報告を必須とする。

使い道

・新歓費（5,000円、部員全員）

新歓花見：新入生、部員参加者の食べ物飲み物

新歓ラン１：景品、新入生の飲み代（人数×3000円）

＊景品は徴収金額に見合った価格設定をすべき。新歓ラン、追いランで価格設定共有化？

新歓ラン２：新入生の飲み代（人数×3000円）

＊養老でののみは会費2500円でいいのでは？

2年生はBBQの食材を入れるためにサイドバッグ両サイド必須とする

BBQ代補助について（最低限のものは買っておくべき？）

キッズダム入場料は新歓費に含まれないのか？

・皐月ラン（参加費2000円、食事会1000円）

夕食、朝食費

キャンプ場代（一人200円）

＊今年度（H25）より皐月ラン参加費を1,500に値下げすることで担当と一致（4/21）

・養老ラン（参加費1000円、食事会1000円）

キャンプ場代（一人200円+一張り500円）

・館山ラン（宿代6,000円、食事会1000円）

・OLラン（参加費1500円、飲み会3000円）

景品、担当の昼代

・追いラン（参加費1500円、飲み会3000円）

景品

・追いコン（参加費　参加者12,000円、欠席者5,000円）

参加者の１次会代、卒業生の1次会代（年によっては4年生への補助金（２～５次会代）が含まれる）

＊プレゼント代を各班で集めるシステムだと、どうしても回収に手間がかかる。追いコン費にプレゼント代を含ませ（現状の追いコン費+2000円）、班リーダーにプレゼント代を支給するほうが良いのではないか。

各担当の参加費免除と担当飲みについて　（担当行事名：免除金額詳細→今後の方針）

新歓担当：新歓費（5,000）、担当のみ（3,000？）→新歓費余りから新歓・新歓ラン担当のみを行うことを廃止とする。

新歓ラン：ラン１、２の飲み会代（6,000）、担当のみ（3,000？）→新歓費余りから新歓・新歓ラン担当のみを行うことを廃止とする。

皐月ラン：参加費、食事会費（2,500）

養老ラン：参加費、食事会費（2,000）

館山ラン：食事会費（1,000）

夏合宿：担当のみ（3,000？）→部費より１人2,000円支給×飲み会参加者

大祭：なし

秋合宿：なし

OLラン：参加費（1,500）、飲み会代（3,000）、昼食（？）

追いラン：参加費（1,500）、飲み会代（3,000）

春合宿：担当のみ（3,000？）→部費より1人2,000円支給×飲み会参加者

＊合宿のバック端数や、各ランで余ったお金は部費に入れる。

**■旧部・部室に関して**

**旧部**

・新しい鍵の購入、各鍵のスペアを作成し、非常用として部室で管理。鈴や大きなストラップを付けるなどして、紛失やお持ち帰りのないようにする。

・旧部鍵持ち出しノート、旧部のチャリ記録ノートの作成

・旧部内改装。（自転車を多く並べる収納術の発掘、ゴミ分別、旧部上部のスペースの利用、ブロックタイヤの収納など。）

**部室**

・鍵が閉めにくくなってきているので、ドアノブごと変える。その際、部室の鍵をしまうポストをセキュリティの高いものに変える。

・ホワイトボードへの落書きはやめよう。

・ペットボトル、缶ゴミは飲み残しなどがたまり汚い、臭う。

→ペットボトル、缶のゴミ箱廃止、各自下のゴミ箱に捨てること

・2台目以降のチャリを部室に置かないこと。メンテ途中、新歓の貸出などでやむを得ない場合以外は部室にチャリを置かない。

**工具棚**

今の改装計画は4月いっぱいを持って終了。

その後は新規企画として活動するか、現状維持の形をとる。（工具棚周辺の掃除、工具の補充などは行う。）

・工具に関しては、持ち出し記録ノートの作成を行う